

事業所名

放課後等デイサービスかみふうせんトレイス

支援プログラム

作成日

令和 7年

2月

20日

法人（事業所）理念	すべての子どもたちが、共に学び共に育つ社会の実現（インクルーシブ社会の創造） 学校や病院、児童相談所等の諸機関と連携 障がい児に良質な療育や支援を継続的に行う 障がい児が自立した生活をおくる事が出来る資質を育てるとともに、地域や仲間と共に生きていく社会性を育てていく。					
支援方針	子どもが安心して楽しめる居場所を作ります。チームで会議を重ねながら個人の特性に合わせて、スモールステップで負担のない療育をしていきます。送迎時に保護者や学校から情報を聞き取り、個人の支援に活かしていきます。 他の療育・学校・相談支援事業所との協働を大切にします。					
営業時間	月～金	11 時 00 分から	19 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり	基本保護者で、応相談で送迎あり
	長期休暇	9 時 00 分から	17 時 00 分まで			
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	来所時と集団活動前に検温し、手洗いの実施も指導員が目視で確認し、表情や行動などから体温変化を把握できるように支援します。ホワイトボードに1日の予定を書いて、視覚的に流れを把握できるようにする。時計を見て動けるように長い針が〇〇になったら、何をするとという事を伝えていく。友達とのやり取りを楽しめるように指導員が援助していきます。整理整頓の自立ができるように支援します。基本的な生活のリズムがつくように支援します。				
	運動・感覚	行事や季節を感じる壁面やカレンダー作りを通して、色々な材料を使って、指先を含め腕の動作がスムーズにいくように支援し、行事の意味や考えなども学べるように支援します。集団活動で、ダンスや公園・室内運動を取り入れ、五感を刺激しながら、体の動かし方を楽しく学んでいけるように支援していきます。はさみを上手く動かしたり、枠内に文字が入るように協応動作の発達を支援します。体幹が鍛えられるような運動も取り入れます。				
	認知・行動	プリント学習や学習プログラムで、形、長さや大きさ、数の概念を学ぶ。月ごとの壁面、カレンダーを作る事で、季節を感じながら、認知機能の発達を促す。時計を理解したり、時間を意識できるように「長い針が〇になったら～」など、繰り返す事で、6が30分になるという事を無理なく覚えていけるようにします。時間の逆算もできるように前もって伝えていきます。脱いだ服を整え、荷物の片付けを行い、自宅ではなく他者と一緒に使う場所である事を意識していけるように細かく声掛けを行う。				
	言語 コミュニケーション	集団活動において、子ども達同志の関わり方、接し方を助言していきます。毎日の振り返りで、1日の終わりに感想を発表する場を設け、語彙力につなげていきます。自分のしたい事の表出方法、助けて欲しい時の相手の気持ちに配慮できるような取り組みを各自の特性に合わせて支援します。振り返りで自分の意見を発表したり、他者の意見を聞く事で、違いに気付く場面を作っていきます。				
	人間関係 社会性	遊びを通して、ルールや順番を守る大切さを学び、集団活動に参加する事で、協調性を思いやり、社会性を育てていきます。SSTや買い物体験を通じて、社会生活のルールや基本的なやり方を学習していけるように支援します。 集団遊びの中で、物の貸し借りや入れてなどのやり取りのやり方を学べるように声掛けや助言を行っていきます。				
家族支援	療育場面の見学や連絡帳や送迎時のコミュニケーションの中から、悩み事があったり、難しいと感じているのではと察した時に話やすいように悩んでいないか等、声掛けを行います。相談の申し出に対して真摯に対応します。	移行支援	各事業所や小・中学校、高校への進学時の情報共有。必要に応じて、参観（見学）を行っていく。			
地域支援・地域連携	児童が利用している他事業所や学校、相談支援員との情報共有をこまめに行っています。	職員の質の向上	毎朝の会議で、児童1人1人に対する日々のケアカンファから、困りごと等について話し合っ、情報共有と同じ方向を向いて支援。書籍や研修による職員の意識、質の向上。委員会による安全管理の共有			
主な行事等	避難訓練（地震津波、火災、水害、年2回以上）、防災プラザで消防士から災害について直接指導を受ける。熱中症対策指導、交通安全指導、不審者対応指導 イベント…お誕生会・初詣・節分・ひな祭り・花見・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティー 水族館など、戸外活動・外食体験・お買い物体験・公園活動					